

川の安全利用に向けた取り組み

「川の安全利用学習会～東橋小学校～」を開催しました！（7月10日）

7月10日（木）の「川の安全利用学習会」に東橋小学校4年生の児童39名と先生4名が参加しました。豊平川（水穂大橋）の河川敷で、川のかたちや川に近づく時の注意点・危険なところを学ぶ「川の危険箇所学習」、豊平川およびその他の川の水質を調べる「水質学習」、豊平川に棲む魚類や水生昆虫を学ぶ「水辺の生き物学習」を実施しました。

● 実施内容

□ 川の危険箇所学習



川にはいろいろな危険箇所があることをパネルで学びました。



川の深さは場所によって急変し、見た目では分かりません。



床止めの周辺は巻きこむ流れがあり、脱出しにくく危険です。



ルールを守って事故にあわないようにしましょう。

□ 水質学習



豊平川と学校周辺を流れる川の水質を簡易測定キットを使って調べました。



調べた結果から、川が「きれい」か、「よごれている」のかパネルを見て学習しました。

□ 水辺の生き物学習

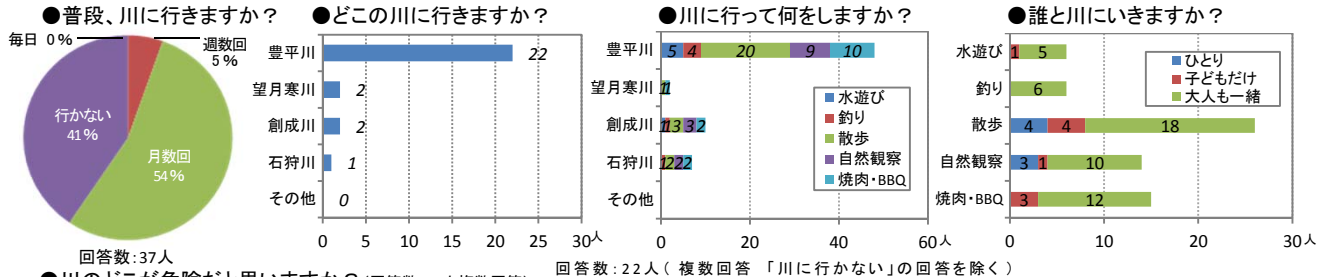


川の中や川底がどのようになっているのかを箱メカネで観察しました。

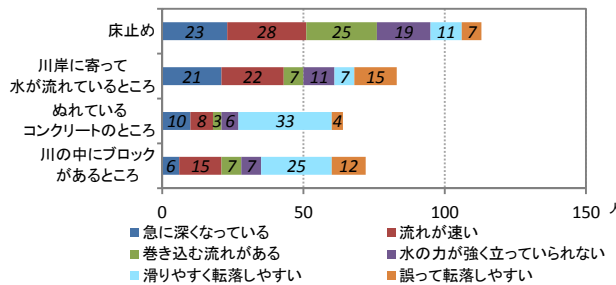


豊平川に生息する魚や水生昆虫をパネルで学び、実際に捕獲した生き物を観察しました。

● アンケート調査



● 川のどこが危険だと思いますか？（回答数：37人複数回答）



アンケートの結果、半数以上の児童が川を利用し、身近である豊平川によく出かけ多目的に利用しているようです。水辺を利用する多くの児童が大人と一緒にいることから、危険性のある程度理解していると思われます。また、今回の安全利用学習会を通じて、児童がいろいろな川の危険箇所を認識してくれたことが分かります。今後も、児童達がルールを正しく守り、川と上手にふれあってくれることを期待します。

● 学習会の感想

- 川の安全利用学習会を体験してみて「わかったこと」、「楽しかったこと」など、児童達・先生達に答えてもらいました。
- ★ どこが危険で、どこが安全なのか勉強になりました。
- ★ パックテストの結果で、豊平川の水はきれいなことがわかりました。これからも川を汚さないようにしたいと思います。
- ★ 生き物学習では、魚の種類やそのいる場所を知ることができました。いろいろな魚がみられて楽しかったです。
- ☆ 今回「川の安全利用学習会」を受け、子どもたちにとってとても良い学習になったと思います。実際に川に流された時の対応や水辺の生き物学習ができた良い経験学習になりました。

★：児童 ☆：先生

お問い合わせ先

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 札幌河川事務所 計画課
〒005-0032 札幌市南区南32条西8丁目2番1号 TEL：(011) 581-3207

